

# 第3回ひろさきウォークアブルシンポジウム

## - クロストーク出演者 -



モデレーター  
**北原 啓司**

弘前大学教育学部特任教授

東北大学大学院工学研究科博士課程修了。東北大学建築学科助手を経て、2003年より弘前大学教育学部教授であり、現在は特任教授。「まち育て」を専門に、各地で地域との実践を行うとともに、学会や各自治体の都市計画や住宅政策、景観に関わる委員を務める傍ら、東日本大震災以来、国土交通省、大船渡市、宮古市、石巻市等の震災復興に関わる様々な委員を務める。日本都市計画学会副会長、東北支部長、全国まちなか広場研究会副会長。2001年からコミュニティFMアップルウエーブで「まち育てないと」のDJを担当。2016年、住総研第5回清水康雄賞を受賞。一級建築士。



パネリスト  
**西村 浩**

株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役  
/建築家/クリエイティブディレクター

1967年佐賀市生まれ/東京大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年ワークヴィジョンズ一級建築士事務所（東京都品川区）を設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組む。2014年には佐賀市呉服元町に同社佐賀オフィス兼シェアオフィス「COTOCO215」を構え、2020年にはベーグル専門店「MOMs' Bagel」の事業主となり、マイクロデベロPPERとしても佐賀のまちづくりにも取り組んでいる。北海道岩見沢市の「岩見沢複合駅舎」では、日本建築学会賞（作品）、2009年度グッドデザイン賞・大賞の他、BCS賞、ブルネル賞、アルカシア建築賞、公共建築賞等受賞。近年では、2019年土木学会デザイン賞（長崎漁港防災緑地「おのうえの丘」、2021年度グッドデザイン賞・金賞（神水公衆浴場）を含む、グッドデザイン賞5作品受賞（神水公衆浴場、佐賀市呉服元町ストリートマーケット、鹿児島世界文化遺産オリエンテーションセンター、福島県石川町文教複合施設・モトガッコ、糸魚川市・キターレ）、日本空間デザイン賞2021の最高賞KUKAN OF THE YEAR（神水公衆浴場）、2021年度都市景観大賞特別賞（糸魚川駅北地区）、2021年度土地活用モデル大賞/国土交通大臣賞（佐賀市呉服元町ストリートマーケット）、など、分野を超えて数多くの受賞歴がある。



パネリスト  
**青木 純**

株式会社まめくらし 代表取締役  
/株式会社nest 代表取締役

生まれ育った豊島区池袋を舞台にリノベーションまちづくりやウォークアブルな公民連携事業に取り組む。南池袋公園/グリーン大通りを舞台にして2017年から取り組む『IKEBUKURO LIVING LOOP』ではイベントからハード整備につなげ、新たなまちの個性となる「まちなかりビングのある日常」を地元企業、商業施設、飲食事業者と共に育む。コミュニティが価値を育む「青豆ハウス」「高円寺アパートメント」等の企画運営を通して主宰する「大家の学校」で愛ある大家の育成にも取り組む。2021年より国土交通省『「ひと」と「くらし」の未来研究会』コアアドバイザー。奈良市公園マネジメント基本計画懇話会メンバー。



ゲスト（第二部）  
**中村 公一**

弘前市まちづくりプレイングマネージャー  
/株式会社クロックアップ代表取締役

1978年生まれ。東京の広告制作会社でアートディレクターを経て、2005年に渡米。NYの名門レコードレーベルにてブランディング業務を担当。2009年青森に帰省して「おもしろい街をデザインする」を经营理念にデザイン会社 Qlock Up を起業。まちを俯瞰で見て、友人に偶然出会うセレンディピティを逆算して「PENT HOUSE」「COFFEEMAN good」「OCEAN'S DINER」「UGUISU」「THE AOMORI MARKET」など飲食店やグロサリーストアを開業。マルシェイベントや音楽イベントなども多数運営し、エリア一帯で連鎖起業するお店が増え、商店街の空き店舗が0に。コンソーシアム「CISOLA」で「あおもり駅前ビーチ」の賑わい創出を担当。特技はデザインで社会の課題を解決すること。